

第 8 章

電気・ガス・上下水道

第 8 章 電気・ガス・上下水道

電気

平成 20 年度における電灯需要の契約口数をみると、507 万 7719 口にのぼり、前年度の 504 万 3810 口に比べ 0.7% (3 万 3909 口) の増加となった。その内訳をみると、従量制が 437 万 7737 口 (前年度比 0.7% 増) となっている。また、使用電力量は 2039 万 9376 MWh で、前年度に比べ 2.4% の減少となり、1 口当たりの年間使用量は 4017 kWh (前年度比 3.0% 減) となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 42 万 9870 口で、前年度に比べ 2.2% の減少となった。使用電力量は 25 億 5877 万 9 千 kWh となっている。

ガス

平成 20 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 59 億 1975 万 m³ で、前年度の 63 億 7462 万 m³ に比べ 7.1% の減少となった。

また、消費量は 39 億 8195 万 m³ で、前年度に比べ 6.1% の減少となった。これを内訳でみると、工業用が 18 億 7325 万 m³ で、前年度に比べ 8.6% の減少となり、商業用が 5 億 6516 万 m³ で、前年度に比べ 4.3% の減少、公用が 1 億 5790 万 m³ で、前年度に比べ 5.9% の減少、医療用が 1 億 6697 万 m³ で、前年度に比べ 4.0% の減少となり、家庭用が 12 億 1866 万 m³ で、前年度に比べ 3.1% の減少となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 392 万 4210 戸で、前年度に比べ 1.7% の増加となっている。

上下水道

・上水道 平成 20 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 11 億 9824 万 m³ で、前年度に比べ 1.9% の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 5326 万 m³ で、全体の 37.8% を占めている。

栓数は 323 万 4674 件で、前年度に比べ 1.1% の増加となっている。

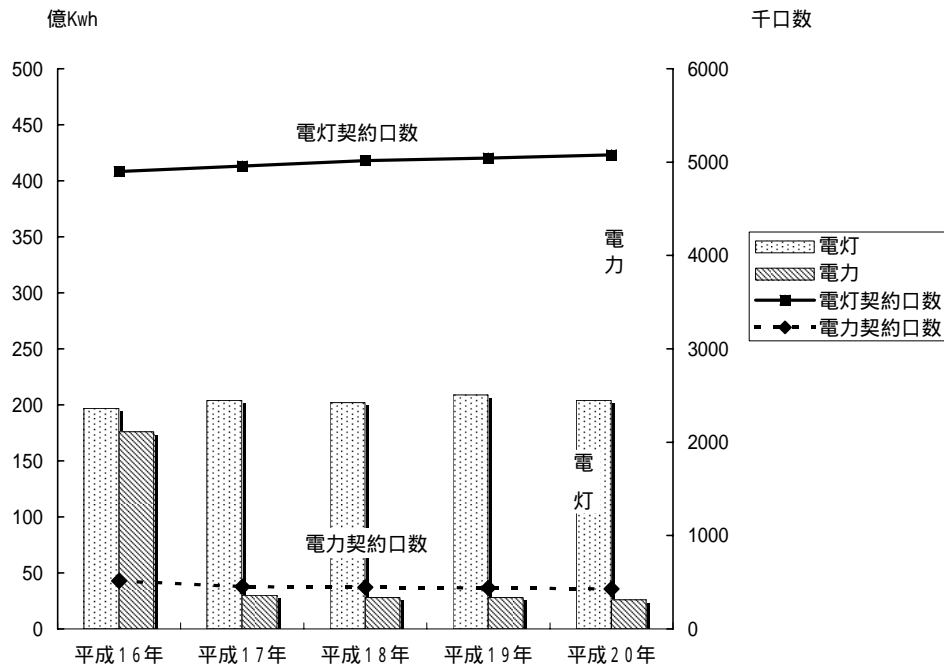
また、1 人 1 日平均給水量は 334 で、前年度に比べ 1.8% の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 461 で、以下、泉佐野市の 419 、岬町の 391 の順となっている。

工業用水の使用状況をみると、1 日当たりの総使用量は、前年比 2.0% 減の 589 万 9903 m³ となっている。

このうち、淡水の使用量は 489 万 4846 m³ で、前年に比べ 2.2% の減少となっており、全体の 83.0% を占めている。これを水源別 (淡水) にみると、回収水が大半の 86.9% を占めており、その内訳は、石油・石炭が 35.7%、化学が 24.0%、鉄鋼が 24.2% と、この 3 業種で回収水全体の 8 割以上を占めている。

・下水道 府内における平成 20 年度末の下水道の普及率をみると、整備人口が 93.2% で、前年度より 0.5 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 100% で、全域に普及している。

使用電力量・契約口数の推移



地域別都市ガス消費量の構成比 (平成20年度)

